

モニタリング調査結果

種名 : キンラン 調査者 : 東林ふれあいの森を愛する会  
 調査地 : 東林ふれあいの森

調査期間	気づいたこと
2018年4月 ~ 2018年5月5日	キンランは、全体で、265株発生し、集計時点では、218株の開花が見られた。昨年より発生株は、16株減少した。 2月から3月に掛けては、天候不順が続き、寒暖差が大きくなり、4月に入ると急激な高温となり、初夏模様が続いた。 周辺低木と程よい日陰では、新たな株が大量に発生した。また、大型の株も多数発生した。一方、日当たりが良く、低木の少ない場所では、株の減少が見られた。
2019年5月6日 ・5月12日	キンランの開花時期を待って調査する予定だったが天気に恵まれず開花終盤の5月6日、12日に林床内の一斉調査を実施した。 キンランの発生株数は286株で、昨年より21株増加した。調査日に開花が認められたのは241株。 キンランは、230株が昨年開花した場所と同じ位置で発生している。 2018年秋の台風で林床に多くの枝が散乱し、林床が荒れた。
2020年4月29日 ・5月3日	コロナ禍により、例年の会員による一斉調査を遂行できず、少人数で、日数を増やして調査した。 2020年5月 発生295株 開花217株 新規発生49株 2019年5月 発生286株 開花241株 新規発生61株 新規の発生株数は、前年より減少したが、<東林ふれあいの森>全体での株数発生は、増加した。前年と同じ場所で再び発生するものと、単立株だったものが、複数株になっているといえると思う。一方で、前年の発生数よりも減少した数が多かったエリアもあり、19秋の台風による林床への影響も一因していると思われる。 毎年のように、大型株（背丈が高い、花数が多い）や、複数株がまとまって群生するエリアは、散策路からも見応えがある。
2021年4月30日・ 5月1日、2日、 5日、16日	ゴールデンウィークの期間に、全数調査を実施。 2021年5月 発生252株 開花212株 新規発生48株 2020年5月 発生295株 開花217株 新規発生38株
2021年3月下旬	出芽の初見、ほぼ例年と同じ 約1週間後には、高さ10cmほどに生育 この直後、ナラ枯れ木伐採作業の実施で損失
2021年4月下旬	先行して開花した株が、次々と見頃期になりつつある。一方、つぼみが膨らみ始めた、これからのエリアも、伐採作業後、林内の日当たり状況に変化が生じた。
2021年5月中旬	結実した株を見つけれられるようになる。
2021年秋	8月の猛暑と長雨の影響が、秋まで枯れた姿をとどめる姿が少ない印象がある。
2022年4月10日	5 ~ 15 cm高に育った株と毎年同じところに発生する大型株は、20 cm高ほどに成長。
2022年4月21日	開花直前の株を発見。 この日、ナラ枯れ木伐採作業が行われていた。
2022年4月25日	花見頃の大型株が目立っていた。
2022年4月29日・ 5月3日	ゴールデンウィークの期間で地域内の全数調査を実施 2022年5月 発生 273株 開花 232株 新規発生 58株 2021年5月 発生 252株 開花 212株 新規発生 48株
2022年5月8日	花色が あせた キンランの姿。 遅咲きエリアのキンランが花期を迎える。